

# 令和4年度 自己評価結果公表シート

学校法人有緝学園 有緝こども園

## 1. 園の教育目標

幼児教育は、家庭との連携を図りながら、生涯にわたる人間形成の基礎を培うために大切なものであり、幼児教育の特性を踏まえ、環境を通して行うものであることを基本とする。このため、教職員は幼児との信頼関係を十分に築き、幼児と共により良い教育環境を創造するように努めるものとする。

- ①健康な心と体を育て、自ら健康で安全な生活をつくりだす力を養う。
- ②自立心を育て、人とかかわる力を養う。
- ③環境に好奇心や探究心をもってかかわり、それらを生活に取り入れていこうとする力を養う。
- ④自分なりの言葉で表現し、相手の話す言葉を聞こうとする意欲や態度を育て、言葉に対する感覚や言葉で表現する力を養う。
- ⑤感じたことや考えたことを自分なりに表現することを通して、豊かな感性や表現する力を養い、創造性を豊かにする。

## 2. 本年度に定めた重点的に取り組む目標

- ①安心・安全な園づくりの推進、衛生管理の徹底
- ②教育・保育の内容についてさらなる向上を目指す
- ③小学校へのつながりを意識していく
- ④園外研修に積極的に参加し力量の向上に努める

## 3. 評価項目の達成及び取り組み状況

評価項目	取り組み状況
教育目標の意識の強化を継続する ①にこにこ どんどん 思いやりの具現化 ②主体性を意識した教育・保育活動の推進	「にこにこ どんどん 思いやり」のキャッチフレーズのもと、園児の主体性を重視した教育・保育活動を実施した。行事指導や制作活動などを通し園児の興味・関心・意欲・表現力を高めた。 作品展では、今年度も園児の「主体性」を根底に据えて材料・アイデア・製作過程などその子なりの発想を大事にした活動を展開した。また、0歳児の研究保育を実施し、年齢に応じた保育活動の充実に大変勉強になった。
新園舎での危機管理体制、特に新型コロナ対策の継続を図る	毎日の保育室点検に取り組んだ。また、月1回の安全点検を分担場所ごとに実施し、危険個所の発見に努めた。また修理・修繕の必要な個所は迅速な対応に努めた。避難訓練では伊勢市役所や伊勢警察署の方にも来ていただき、不審者対応訓練の様子を見ていただき、助言を受けた。幼児向け心肺蘇生法の研修を全員が消防署へ出向き受講した。 新型コロナウイルス対策では、日常的な清掃・消毒に

	努めた。また外来者・職員・園児も検温・手指消毒・手洗いなどの対策を継続して行った。
園児の個性を尊重した保育についての取り組みをすすめる。 支援の必要な園児の情報共有や援助方法の共通理解を図る。	個別支援の必要な園児に対しての援助は、職員間の情報交換を密にし、共通理解を図るため全職員に援助方法を周知するなど全体で取り組むことができた。しかし、年々支援の必要な園児が増加しており、人手不足の中どのような支援が可能か、大きな課題である。

#### 4. 学校評価の総合的な評価結果

令和4年度は認定こども園に移行して5年目となった。園の運営も職員の努力と工夫で円滑に進められるようになってきている。自己評価の結果も、全体的にはAとBの肯定的な評価がほとんどであり、良い結果となっている。関係者評価、第三者評価もおおむね良い評価をいただいている。しかし、この1年も昨年につき新型コロナウイルスの影響で、日常生活も各種行事も大きな影響を受けた。園の運営・職員間の連携・危機管理・情報発信などは努力の成果が表れている。

#### 5. 今後取り組むべき課題

課題	具体的な取り組み方法
教育目標の意識の強化を継続する (にこにこ どんどん 思いやり の具現化)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・園内研修を通じて質の高い教育保育を目指す。</li> <li>・全職員に適宜資料を提供し、理解を深める。</li> <li>・園外研修にも積極的に参加していく。</li> <li>・研修テーマに、「主体的に関わる子ども」を設定。</li> </ul>
危機管理体制の確立、避難訓練の充実、衛生管理の徹底を図る。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・毎月避難訓練を実施し避難方法を習熟する。</li> <li>・警察署と連携した不審者対応訓練を実施する。</li> <li>・毎日の点検活動と、毎月の安全点検を実施する。</li> <li>・園舎内の清潔を保ち、消毒作業なども継続する。</li> </ul>
食育についての取り組みを強化していく	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者への啓発をすすめ、望ましい食習慣が身についていくよう働きかける。</li> <li>・給食指導方法の共通理解をはかり、発達段階に応じた取り組みを推進する。</li> </ul>
園児の個性を尊重した保育（個別支援も含む）についての取り組みをすすめる	<ul style="list-style-type: none"> <li>・主体性を尊重しその子の個性を伸ばす保育をさらに進めていく。</li> <li>・個別支援の必要なケースについての研修をすすめる。</li> <li>・教材教具、保育室環境、声掛けの仕方など情報交換と共通理解を図る。</li> </ul>